

次回研究発表大会予告

第28回国際 P 2 M 学会秋季大会は、

2019年（令和元年）10月6日（日）

慶應義塾大学三田キャンパスで開催！！

大会テーマは、共創時代を拓くシステムデザインと P 2 M

慶應義塾大学 中野冠、高野研一

2019年5月18日（土）に早稲田大学早稲田キャンパスで開催された国際 P 2 M 学会理事会・評議員会において、第28回国際 P 2 M 学会秋季大会が、2019年10月6日（日）慶應義塾大学三田キャンパスで開催されることが承認されました。また、実行委員長・副委員長に慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科の中野と高野を充てることが併せて承認されました。

システムデザイン・マネジメント研究科は、システムデザインとプロジェクトマネジメントを必修科目として教える大学院であり、社会人も多く本学会に新風を入れることが期待されていると思います。

従来、プロジェクト&プログラムマネジメントは、比較的規模の大きいビジネスに活用されることが多かったと思われまます。しかし、昨今では持続可能な社会実現への活用にも貢献できると考えられ、その取り組みが始まりつつあります。とりわけ、地球環境問題、エネルギー問題、持続可能な都市構造問題、少子高齢化問題、未来の交通問題などの社会問題は、大規模かつ複雑なシステムの

問題となります。これら大規模複雑なシステムの実現・維持・問題解決には、先見の思考、学際的思考、包括的思考が必要とされ、システムデザインとプロジェクト&プログラムマネジメントがともに欠かせないと考えられます。すなわち、システムをサブシステムや要素に分解して、システム全体と要素を関係付けてそれらのゴールを定めて設計するシステムデザインが必要であると同時に、サブシステムや要素を開発し、長期にわたり改良を続けるためのプロジェクト群とそれらを束ねるプログラムのマネジメントが重要になるはずです。その際、エコシステムやオープンイノベーションなど、「共創」のマネジメントが一段と重要になるでしょう。

本大会では、システムデザインとプロジェクト&プログラムマネジメントの関連性を議論し、今後、国際 P 2 M 学会が果たすべき役割を議論する場としたいと考えます。

こうしたことから、今回テーマとして「共創時代を拓くシステムデザインと P 2 M」を掲げさせていただきました。

開催場所の詳細、プログラムは追って

P2M マガジン No. 0, pp.18-19 (2019)

発表されます。基調講演、パネルディスカッションのテーマ、登壇者についても、本大会の開催趣旨を踏まえて選定される見込みです。

三田キャンパスのアクセスは、JR田町駅、都営地下鉄三田線、浅草線三田駅、都営大江戸線赤羽橋駅が便利で、昼食も

近隣に多くの食堂が存在します。また、大会終了後の懇親会も学内で開催予定です。会員の皆様方のご参加をお待ちしております。

2019年7月1日受理